

CSSの書き方

今回はCSSを学んでいきます。

CSSは奥が深く、プロパティも複数存在するのですべてを覚える必要はないですが自由自在に、使えるようになりましょう！

CSSの書き方

CSSの書き方は多く分けて3つありますその方法を紹介します

HTMLタグに直接書く

HTMLの開始タグの中にCSSを直せる書くことができます。

サンプルを書いておきますので実際に確認してみてください

```
<p style="color: red;">HTMLタグに直接CSSを書く</p>
```

HTMLファイルにstyleタグを作って書く

titleタグの下に**style**タグを書いてCSSをHTMLへ反映できます。

```
<style>
  p {
    color: red;
  }
</style>
```

CSSファイルを読み込む

「CSS」というディレクトリを作成してその中に「style.css」というファイルを作ってください。

titleタグの下に下記のサンプルを書いてください。

```
<link rel="stylesheet" href="./css/style.css">
```

rel属性でファイルとの関係性とhrefでCSSファイルをインポートする

```
@charset "utf-8";

p {
  color: red;
}
```

@charset "utf-8";はHTMLの同様文字コードを指定してます。

CSSの書き方は他と同様です。

どの書き方が適切なのか

CSSの書き方を3つ紹介しましたが、どの書き方が適切なのかと言うと、**CSSファイルを読み込む**方法が適切です。

なぜこの方法が良いのかと言うと。

- HTML、CSSの可読性が良い
- 保守性が高い
- CSSのモジュール化ができる

実務ではほとんどがCSSファイルを読み込んでスタイルを適用することがほとんどです。

古いページの改修だとHTMLに直接書いてあるパターンがあるかもしれません。

プライベートで何か制作する時もCSSファイルを読み込んで作るようにしましょう！